

令和3年10月26日(火)に、名古屋市立西味鏡小学校で「庄内川の自然環境」と「水害と防災」をテーマとした授業の支援を行いました。授業では、児童が庄内川に生息する水生生物の観察や庄内川の水質計測などを体験をすることで河川環境の大切さを学びました。また、全国で発生しているさまざまな水害について、実際に水害を経験したことがない世代である児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の被害の様子を知ってもらい、水防災は、「事前の備え」や「自らの命は自らで守る」という意識をもった行動が重要であることを伝えました。

環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチ～



環境学習 ～水質計測～



防災学習～近年の大規模水害の説明～



## 【参加した児童：4年生42名】

### ★児童たちの感想

- ・庄内川は、昔はきたなかったけれど、今はきれいになった。きたないと生き物にも影響を与えてしまうから、ずっときれいなままの状態を保っていきたいと思った。
- ・庄内川を通る機会があるときには、少し観察をして川の水質や、どの種類の魚が何匹いるのを見て自由課題に記録してみたいと思った。
- ・庄内川の水をもっときれいにするには、ごみを川に捨てたりしないなど、自分の行動ひとつで変わらと思う。
- ・防災の話で教えてもらった「もしもにぞなえて」をやろうと思った。 など

防災学習 ～『自らの命は自らで守る』～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。